

福岡県米麦大豆生育情報

平成30年2月9日
福岡県農林業総合試験場

麦の生育概況と対策

1. 本年の気象 [太宰府アメダス]

	1月19日～2月8日 (21日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	2.6	6.5	-0.5	77.3	15
前年差(比)	-3.4	-4.4	-2.2	83%	38%
平年差(比)	-2.4	-2.7	-1.6	104%	36%

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 麦の生育 [小麦:11月20日播種、大麦:11月24日播種]

1月19日～2月8日の平均気温は平年より2.4℃低く、日照時間は平年並みで、降水量は平年より64%少なかった。

2月9日現在の麦類の生育は、草丈は平年より15～29%短く、茎数は16～46%少なく、主稈葉数は0.7～1.4葉少なく、生育は遅れている。11月下旬播種の節間伸長開始期(莖立期、節間長5mm)は、小麦では3月1～2半旬、大麦では3月2半旬で平年より遅いと予想される。

3. 今後の対策

(1) 排水対策

降雨時の表面排水が速やかに行われるよう排水溝の溝さらえを行い、排水口を整備する。土入れを兼ねて作溝し、排水対策を徹底する。

(2) 土入れ・踏圧

土壌が乾燥した時点で速やかに土入れ・踏圧を実施する。

踏圧は節間伸長開始期までに実施する。節間伸長開始期は11月下旬播種の場合、3月1半旬～3月2半旬と予想されるが、播種期や地域により差が大きいため、現地の状況を見て判断する。土入れは倒伏防止や雑草防除の効果が高いため、3月上旬までに2～3回実施する。

(3) 雑草防除

今後、ヤエムグラやカラスノエンドウ、タデ類などの広葉雑草の発生が予想される。雑草の草種や発生状況を観察し、茎葉処理除草剤を早めに処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

(4) 追肥

1回目の追肥(分けつ肥)を施用していない場合は、速やかに施用する。追肥後に土入れを行っていない場合は、早急に土入れを実施して確実に覆土を行う。

2回目の追肥(穂肥)は、食料用大麦と裸麦は2月下旬、小麦は2月下旬～3月上旬に基準量を施用する。

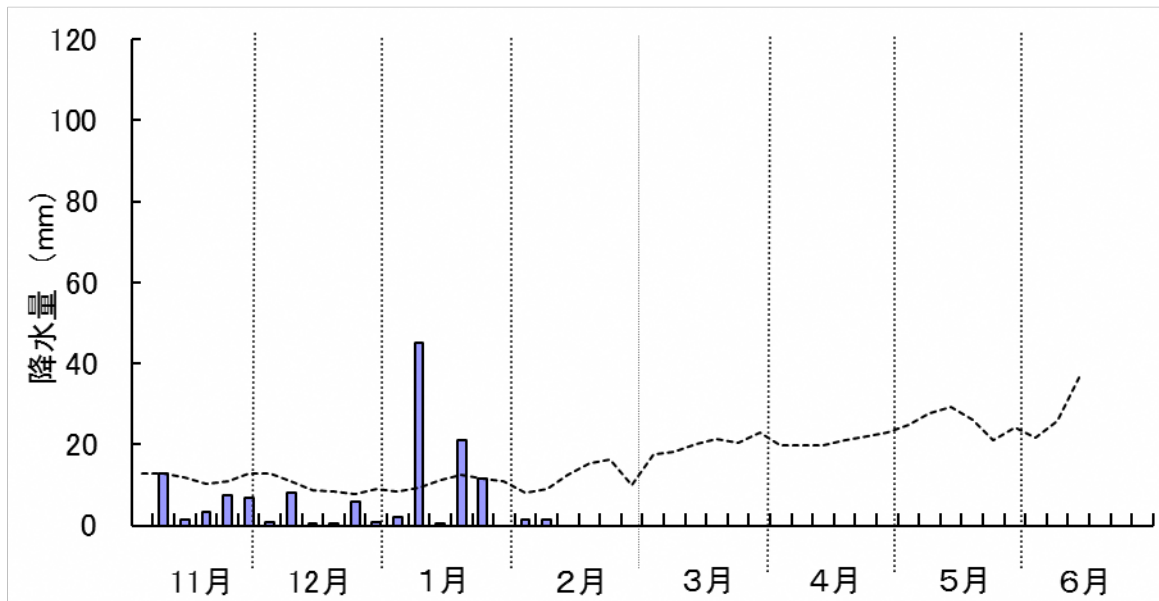
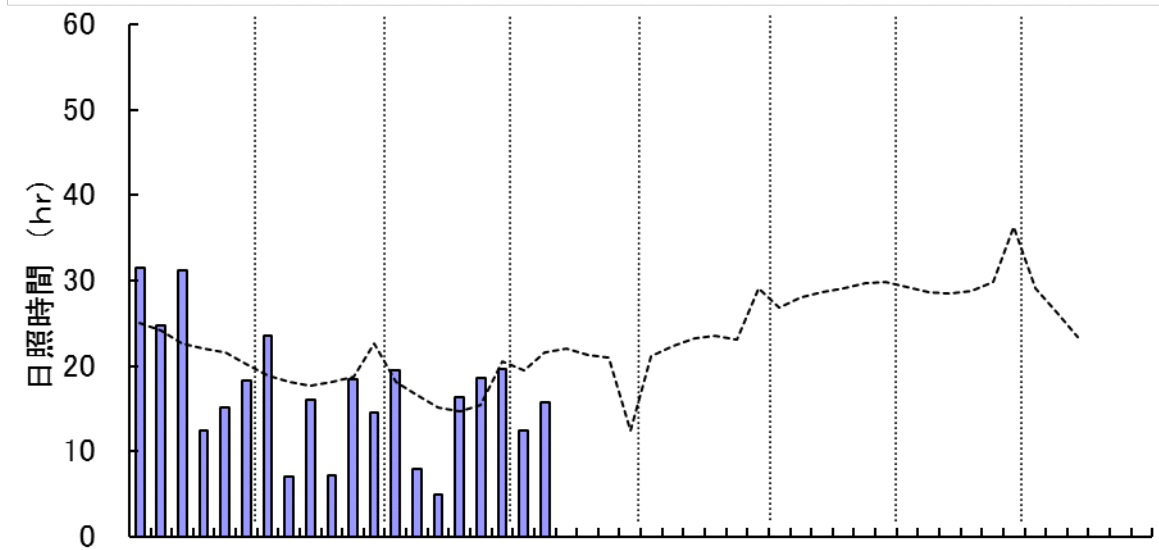
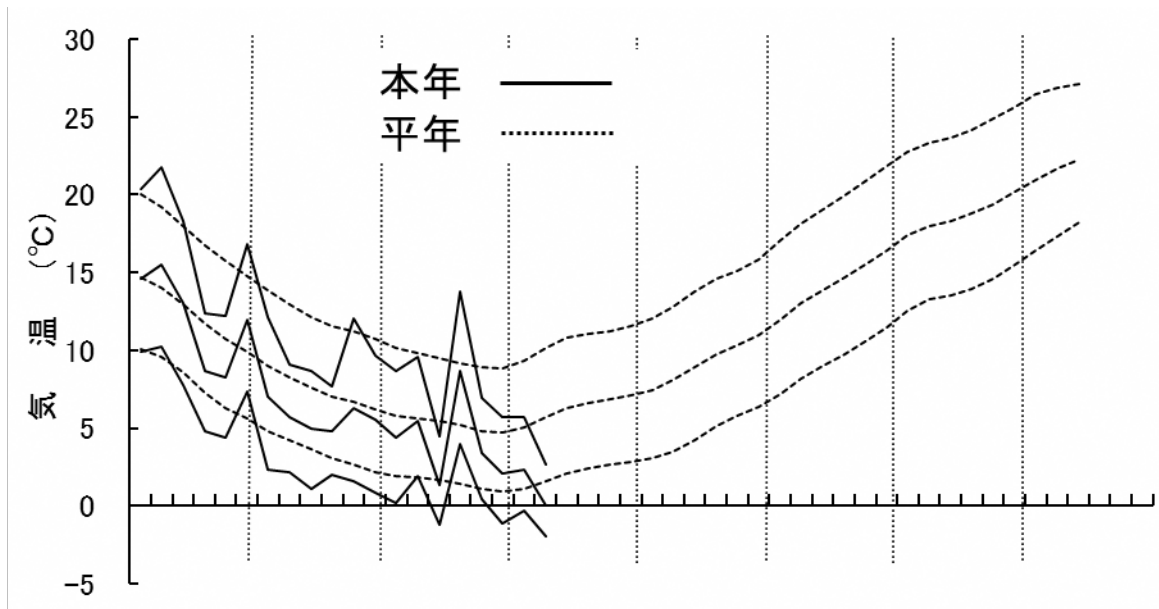
4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	播種期 月.日	品種名	年次	出芽期 月.日	1月19日			2月9日			予想 茎立期 月.半旬
					草丈	茎数	葉数	草丈	茎数	葉数	
					cm	本/m ²	L	cm	本/m ²	L	
農産部	11.20	チコ ^イ イ ^ミ	本年	12.2	11.7	312	3.2	12.4	513	4.0	3.2
			前年比(差)	+5	68	60	-2.0	55	83	-2.2	(2.4)
			平年比(差)	+2	97	70	-0.9	82	81	-1.4	—
	11.20	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	12.2	11.6	306	3.3	13.0	497	4.2	3.2
			前年比(差)	+5	66	68	-1.9	55	90	-2.1	(2.4)
			前8年比(差)	+2	91	71	-0.8	82	84	-1.2	—
11.24	ほうしゆん	本年	12.6	8.3	313	3.0	8.7	644	4.2	3.2	
		前年比(差)	+1	79	56	-1.7	71	71	-2.1	(3.1)	
		平年比(差)	±0	96	76	-0.7	85	82	-1.2	—	
筑後分場	11.20	シカ ^ネ ムギ ^ギ	本年	12.3	9.7	435	3.9	12.1	535	4.8	3.2
			前年比(差)	+1	53	112	-0.5	66	113	-0.8	(3.1)
			平年比(差)	+2	72	94	-0.4	72	80	-0.8	—
	11.20	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	12.3	12.2	385	3.5	12.9	513	4.5	3.1
			前年比(差)	±0	82	105	-0.9	85	97	-1.2	(2.6)
			前9年比(差)	+1	90	91	-0.7	75	82	-0.9	—
11.24	はるしずく	本年	12.14	8.4	218	3.5	9.4	443	4.7	3.2	
		前年比(差)	+6	70	42	-1.1	79	74	-1.2	(3.1)	
		平年比(差)	+6	76	54	-0.2	71	54	-0.7	—	

注1) 平年値はH19～H28年播の平均値。

2) 前年比(差)、平年比(差)：草丈および茎数は前年比および平年比、出芽期および葉数は前年差および平年差を示す。

3) この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象 (太宰府アメダス：平成29年11月～平成30年6月)